

余暇の過ごし方 上野公園

Gayleen Mackereth

Edgewater College
Auckland, New Zealand



学習者年齢： 15才
日本語レベル： 中級
文化面の目的： 日本人とニュージーランド人の余暇の過ごし方を比較する
日本人の宗教や習慣について学ぶ
学習する日本語： 余暇に関連する表現
“～つもりです、ジョギングする、自転車に乗る、広い公園”

学習目標

上野公園とその周辺の商店街を撮影したビデオを見ながら、日本人の休日の使い方や、都会(東京)の人々にとってなぜ公園が必要なのかを考える。また、日本人もニュージーランド人と同様に余暇を楽しむが、両者の余暇の過ごし方は異なっていることを学ぶ。

お寺や神社に参拝する人を見ながら、日本の宗教や習慣について学ぶ。

- ことについて、気づいたことや質問を書き出していく。
4. クラス全体でディスカッションをし、日本とニュージーランドにおける余暇の過ごし方を比較する。生徒の地区の公園と上野公園との立地条件の違いを比較し、上野公園における人々の行動と余暇の楽しみ方について、自分たちの場合と比べられるようにする。

生徒の意見・反応

都会に住む日本人を扱ったビデオを見ることで、日本の文化や宗教、その歴史的背景に興味を示すようになる。生徒は、日本の商店街の街並みや商品の豊富さに驚いていた。

外国語学習と文化理解

日本語の授業において、日本の自然や行事に触れずに日本の春や桜について教えることはできない。「花見」「つる」「たいふう」「むしあつい」のいずれも、日本人の考え方、行動様式、風土と深くつながっており、ニュージーランドにはないものである。例えば、構文「どこへ行きますか」を

教えるとき、ニュージーランドには地下鉄や新幹線はないので、日本の交通事情について説明する必要がある。

文化理解は、導入段階に続いて、関心を引くこと、自分自身の文化を見つめ直すこと、ほかの文化を理解して受け入れることの4段階がある。教師自身が日本語を学ぶことを通して日本文化を愛するようになってこそ、子どもたちの人生観を変え、平和の尊さを教えることができる。

授業の進め方

<用意する物>

- ・ 記入用紙
- ・ 上野公園と周辺の商店街を写した8ミリビデオ

<進行方法>

1. 日本の余暇について知っていることを話し合い、学習ずみの単語や構文を黒板に書き出す。
2. ビデオを2回見る。2度目は、ビデオを見ながらメモをとる。
3. グループに分かれ、メモしたことについて生徒間でディスカッションする。公園で人々が行っている